

# 島本町教育委員会の点検・評価について

## 1 趣旨

効果的な教育行政を推進し、住民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第27条に基づき、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行うもの。

(参考) 地方教育行政の組織及び運営に関する法律 第27条

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第27条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(中略)の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

## 2 点検・評価の方法

### (1) 基本的事項

前年度の「島本町教育重点目標」に対する進捗状況を点検・評価する。

### (2) 点検・評価項目について

教育重点目標における【目標項目】を、「点検・評価項目」として設定し、項目ごとに「点検・評価シート」を作成する。

評価を行うにあたっては、各【目標項目】における【重点課題】の項目ごとに、前年度の取組み状況を点検のうえ、「点検・評価項目」全体における総合評価を行う。

### (3) 学識経験者の知見活用

点検・評価の実施にあたっては、「点検・評価協力者」として学校教育関係、生涯学習関係の学識経験者各1名から助言を受けた。

学校教育関係協力者

ふりがな	にしかわ のぶひろ
氏名	西川 信 廣
所属・職名	京都産業大学 連携推進室長・文化学部教授
備考	島本町教育委員会と京都産業大学との連携協定(平成20年10月)における大学側実務責任者

生涯学習関係協力者

ふりがな	であい やすひろ
氏名	出 相 泰 裕
所属・職名	大阪教育大学 教職教育研究開発センター准教授
備考	島本町生涯学習推進計画(平成18年3月)策定時の検討懇話会スーパーバイザー

### 3 学識経験者からの意見（主なもの）

- ・平成19年度島本町教育重点目標は、今回の点検・評価を想定して作られた内容ではないので、次年度以降については、PDCAサイクルに適応できるような目標設定を行うことが望ましい。
- ・参考情報として、数値で示せる内容については数値で示すことが望ましい。
- ・住民が読んで納得できるよう、できるだけ具体的に説明を行う必要がある。
- ・「特色ある学校づくり」に関し、教育委員会として、公立小中学校における「特色」「個性」というものをどう考えるのか、という議論が必要。また「学校の自主性・自律性の確立」に関しては、学校裁量権に関する議論が必要である。
- ・従来、生涯学習とは「自主的なもの」と捉えられていたが、「やったことのない人、関心のない人にどうアプローチするか」という視点が求められるようになってきている。今後は、色々な場面でアンケート調査を行い、利用者数、新規利用者数、満足度等を把握していく必要がある。

### 4 点検・評価結果

別紙「点検・評価シート」のとおり。

### 5 点検・評価に関する今後の取組み

今回の点検・評価結果及び学識経験者からの意見を踏まえ、今後、教育委員会として次のとおり取り組んでいく。

- ・点検・評価の作業を通じて、各担当部署において現状と課題を再認識するとともに、教育委員会事務局全体で情報共有し、住民の教育行政に対する期待に応えられるよう、業務改善に努める。
- ・学識経験者からの意見のうち、今回の報告書に反映できなかったものについては、教育委員会事務局内で改めて議論を行い、次回の目標設定時にできる限り反映させる。
- ・点検・評価は前年度を振り返るためだけのものではなく、改善に向けて次年度以降の計画を立てて実行し、PDCAサイクルで進めていくものである。点検・評価の手法については固定化せず、見直しを行いながら改善し、よりスムーズな仕組みづくりに今後も取り組む。